

平成 21 年 11 月 11 日

士幌町長 小 林 康 雄 殿

士幌町環境マネジメントシステム
監査チーム

主任監査員 東村 達夫

副主任監査員 辻 亨

副主任監査員 多比良 康彦

環境監査報告書

L A S－E 実施項目の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査日程

平成 21 年 11 月 10 日(火)、11 日(水)

2. 監査対象

本庁舎：10 実行部門、外部施設：18 実行部門、計 28 実行部門
および環境政策推進本部、事務局

3. LAS-E 監査内容

【共通実施項目監査】

- | | |
|--|----------|
| ① エコアクション(環境活動)部門 | 第 1 ステージ |
| A101, A102, A103, A104, A105, A106, A107, A108, A109 | |
| ② エコマネジメント(環境経営)部門 | 第 1 ステージ |
| B101, B102, B103, B104, B105, B106, B107, B108, B109 | |
| ③ エコガバナンス(環境自治)部門 | 第 1 ステージ |
| C101, C102, C103, C104, C105, C106 | |

4. 総合所見

エコアクション部門 9 項目およびエコガバナンス部門 6 項目では全て○（良好）でしたが、エコマネジメント部門において 9 項目中 1 項目のみ△（改善要望事項）と評価しました。

全体としては、身近なエコオフィスの取組や基本的な情報発信等は実践されているものの、記録や提出、方針等の理解といった、運用のしくみ・体制の面での課題が顕著になりました。

エコアクション部門においては、省エネやごみ減量、業者への環境配慮要請等の具体的な取組はほぼ定着しており、良好な実施状況が確認できました。しかし、使い捨て容器の処理、グリーン購入については、取り組むべき状況が曖昧になる場合もあり、取組を有効にするためのルールの明確化が必要です。

エコマネジメント部門では、B107 を△としました。特に教育施設でのごみ等の計量等において、記録はとられているものの提出されていない等、取組方法の理解不足が多く見受けられました。

また、共通実施項目別評価結果において、△にならなかったものの、職場研修の実施あるいはその記録がない、基本方針、環境影響、独自目標についての理解が不足している施設も多く見られました。こうした施設では、記録や報告時期等の取組方法が十分に伝達されていない、基本方針等の理解については担当者一人に任せきりで他の職員への広がりがなく、担当者の異動・不在時の引き継ぎも十分ではないという状況が推察されます。これらの施設を主に所管する教育課とも協議の上、取組方法を中心とした情報の伝達、取組内容の施設内周知や引き継ぎ方法について、整備または改善を望みます。

エコガバナンス部門では、全項目で実施を確認できましたが、町民にも実施できるような良い取組事例や環境宣言の PR 等、町で行っている環境関連の事業内容について、より積極的な発信があると良いでしょう。

マンネリ化防止やより有効なシステム運用のためにも、今回の指摘に加え、これまでの監査での指摘事項の対応を再確認し、システムの運用方法（運用の手引き）そのものの評価・見直しをご検討下さい。

また、推進本部長および副本部長へのインタビューの中で、地域（町民）への取組の拡大を強く意識されていることを確認できました。今回の監査では指摘の多かった教育施設ですが、そこからの情報発信や取組の展開は非常に重要です。地域展開を見据えた取組についてもご検討いただき、土幌町全体での環境への取組の推進を期待します。

その他

- ・他部署に無い特筆すべき取組については、現場の写真等と共に他部署および住民にも紹介し、取組の拡大を図ってください。
- ・予め日程調整をしていたにもかかわらず、監査現場にて担当者が不在で引き継ぎも十分でないケースが見受けられました。やむを得ず代理を立てられる場合は、少なくとも資料の引き継ぎを徹底していただくようお願いします。
- ・ノーマイカーデーに関して、学校等で、隣接する宿舎からか、遠方からの通いのどちらかに分かれてしまう場合があります。ふだん車で通勤し、徒歩または自転車等での通勤が可能な場合は、ノーマイカーデーの設定が有効ですが、実質的に対象者が居ない場合は、確認対象からの除外してはいかがでしょうか。

5. 共通実施項目評価結果

ステージ	部門	No.	内 容	実施率 (◎または○)	評価 結果
第1ステージ	エコアクション部門	A101	本庁舎や分庁舎におけるオフィス活動における省エネ・省資源、廃棄物発生抑制・削減、リサイクル、自然エネルギー利用、グリーン購入などを実施するとともに、関係法令を遵守している	100%	○
		A102	学校、保育園など教育・保育部門での省エネ・省資源、廃棄物発生抑制・削減、リサイクル、自然エネルギー利用、グリーン購入などを実施するとともに、関係法令を遵守している	96%	○
		A103	公民館、図書館、市民会館など、市民利用施設での省エネ・省資源、廃棄物発生抑制・削減、リサイクル、自然エネルギー利用、グリーン購入などを実施するとともに、関係法令を遵守している	100%	○
		A104	病院、保健所、高齢者福祉施設など、医療福祉部門での省エネ・省資源、廃棄物発生抑制・削減、リサイクル、自然エネルギー利用、グリーン購入などを実施するとともに、関係法令を遵守している	100%	○
		A105	消防庁舎、上下水道施設、清掃工場、給食センターなど供給処理施設の事務部門における省エネ・省資源、廃棄物発生抑制・削減、リサイクル、自然エネルギー利用、グリーン購入などを実施するとともに、関係法令を遵守している	100%	○
		A106	公用車利用による環境影響の抑制(職員の勤務中の公用車利用の抑制、低公害車の導入や自転車の利用など)を実施している	100%	○
		A107	職員の通勤時の直接的環境影響の低減(マイカー使用の抑制、公共輸送機関や自転車の使用など)を実施している	100%	○
		A108	庁舎・施設内に常在する者(施設管理者、食堂・売店スタッフ等)への環境配慮の要請を実施している	100%	○
		A109	庁舎・施設へ出入りする事業者への環境配慮の協力要請を行っている	100%	○
	エコマネジメント部門	B101	環境面での取り組みの基本方針を定めており、職員がそれを認識・理解している	88%	○
		B102	事務活動に伴う環境への影響の内容を把握し、職員がこれを認識・理解している	86%	○
		B103	組織や職員が環境に関する目標(独自目標)について、認識・理解している	88%	○
		B104	環境への取り組みに関する組織体制・責任体制が明確になっており、職員が組織上の役割を認識・理解している	94%	○
		B105	庁内事務活動の環境への取り組みに関する部門間の協議組織が設置されており、これが定期的に開催されている	100%	○
		B106	すべての職員が環境に関する教育を定期的に受けている	83%	○
		B107	首長と環境に関する協議組織が、環境マネジメントシステムに関することや環境政策全般について定期的に協議している	100%	○
		B108	事務活動に伴う環境負荷の発生量(CO ₂ の排出量、エネルギーや水・紙の消費量、ごみの排出量など)を定量的・定期的に把握している	70%	△
		B109	各職場において独自の環境配慮の工夫をしている	92%	○
	エコガバナンス部門	C101	環境に関する取り組みの基本指針または宣言について一般に公開・提供している	100%	○
		C102	環境に関する目標の達成状況に関する情報を定期的に公開・提供している	100%	○
		C103	環境に関連する計画(環境基本計画、都市計画マスタープラン、緑の基本計画、ごみ処理基本計画など)の内容を公開・提供している	100%	○
		C104	環境に関連する計画(環境基本計画、都市計画マスタープラン、緑の基本計画、ごみ処理基本計画など)の策定・運用にあたり、途中経過を率先して公開・提供している	100%	○
		C105	環境を保全・改善する施策・事業(公園・緑地整備、水辺整備など)について、その内容を公開・提供するしくみがある	100%	○
		C106	主要な公共事業(道路等の建設、ごみ処理施設建設、宅地造成・公共施設建築など)について、環境に影響を与える内容(騒音・振動、自然の減少など)を公開・提供するしくみがある	100%	○

実施率(監査項目に対する◎または○の個数の割合)が

80%以上なら○、60%～80%なら△、60%未満なら×と評価

(参考)「規格別」実施率算定資料

規格項目	事務局					事務局以外					合計						
	◎	○	△	×	／	◎	○	△	×	／	◎	○	△	×	◎ or ○ (A)	集計対象(非該当等除く) (B)	実施率 (A/B)
	大変良い	良好	改善要望事項	勧告事項	該当なし	大変良い	良好	改善要望事項	勧告事項	該当なし	大変良い	良好	改善要望事項	勧告事項			
A101	0	4	0	0	0	1	37	0	0	3	1	41	0	0	42	42	100%
A102	0	0	0	0	0	2	79	1	2	0	2	79	1	2	81	84	96%
A103	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	20	0	0	20	20	100%
A104	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9	0	0	9	9	100%
A105	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	2	2	100%
A106	0	1	0	0	0	0	6	0	0	1	0	7	0	0	7	7	100%
A107	0	1	0	0	0	0	16	0	0	2	0	17	0	0	17	17	100%
A108	0	1	0	0	0	0	5	0	0	1	0	6	0	0	6	6	100%
A109	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	5	0	0	5	5	100%
B101	0	1	0	0	0	1	19	2	1	0	1	20	2	1	21	24	88%
B102	0	1	0	0	0	0	11	0	2	0	0	12	0	2	12	14	86%
B103	0	2	0	0	0	0	12	1	1	0	0	14	1	1	14	16	88%
B104	0	1	0	0	0	0	29	2	0	2	0	30	2	0	30	32	94%
B105	0	1	0	0	0	0	17	0	0	2	0	18	0	0	18	18	100%
B106	0	1	0	0	0	1	18	3	1	2	1	19	3	1	20	24	83%
B107	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2	2	100%
B108	0	1	0	0	0	1	12	5	1	0	1	13	5	1	14	20	70%
B109	0	1	0	0	0	1	10	1	0	0	1	11	1	0	12	13	92%
C101	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2	2	100%
C102	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2	2	100%
C103	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2	2	100%
C104	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2	2	100%
C105	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0	0	3	3	100%
C106	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	2	2	100%
合計	0	23	0	0	0	8	314	15	8	13	8	337	15	8	345	368	

(参考)「設問別」実施率算定資料

(※事務局監査分を除いた各課・施設への監査結果を集計)

		LAS-E分類 No.	◎ 大変 良い (a)	○ 良好 (b)	△ 改善 要望 事項 (c)	× 勧告 事項 (d)	／ 該当 なし (e)	◎ or ○ (a+b) =(f)	算定対象 数 (該当無し 除く) (a+b+c+d) =(g)	実施率 (f ÷ g)
1	照明についての省エネ工夫	A101-105	1	12	0	0	0	13	13	100%
2	時間外勤務時の省エネ	A101-105	0	10	0	0	0	10	10	100%
3	パソコン等OA機器の省エネ	A101-105	0	14	0	0	0	14	14	100%
4	個人用扇風機やストーブの自粛	A101-105	0	12	0	0	0	12	12	100%
5	電気・ガス・水道の心がけ	A101-105	1	9	0	0	0	10	10	100%
6	ごみ分別の徹底	A101-105	0	23	0	0	0	23	23	100%
7	外部施設における資源ごみ回収の徹底	A101-105	0	12	0	0	0	12	12	100%
8	使い捨て弁当容器の使用自粛	A101-105	0	8	0	1	0	8	9	89%
9	使い捨て飲料容器の使用自粛	A101-105	0	6	1	0	2	6	7	86%
10	紙の使用量削減の工夫	A101-105	1	13	0	0	0	14	14	100%
11	使用済み封筒の再利用	A101-105	1	11	0	0	1	12	12	100%
12	グリーン購入の現物確認	A101-105	0	15	0	1	0	15	16	94%
13	リサイクル容易な窓付き封筒利用	A101-105	0	1	0	0	0	1	1	100%
14	公用車運転時の環境配慮	A106	0	4	0	0	0	4	4	100%
15	公用車の使用自粛	A106	0	2	0	0	1	2	2	100%
16	ノーマイカーデーの実施	A107	0	9	0	0	2	9	9	100%
17	徒歩出勤記録の確認	A107	0	7	0	0	0	7	7	100%
18	常在者への環境配慮要請	A108	0	5	0	0	1	5	5	100%
19	出入業者への環境配慮要請	A109	0	4	0	0	0	4	4	100%
20	環境基本方針の認知	B101	1	14	2	1	0	15	18	83%
21	環境基本方針の周知	B101	0	5	0	0	0	5	5	100%
22	仕事と環境負荷側面の関連理解	B102	0	11	0	2	0	11	13	85%
23	独自目標の認知・達成の工夫	B103	0	12	1	1	0	12	14	86%
24	EMS上の役割の認知	B104	0	13	2	0	2	13	15	87%
25	推進本部会議への出席	B105	0	9	0	0	0	9	9	100%
26	マネージャー会議への出席	B105	0	8	0	0	2	8	8	100%
27	研修への参加と記録	B106	0	9	3	1	2	9	13	69%
28	職場ごとの職員研修の実施	B106	1	9	0	0	0	10	10	100%
29	全職員対象の研修実施	B106	0	0	0	0	0	0	0	
30	協議結果の記録確認	B107	0	1	0	0	0	1	1	100%
31	環境負荷実態調査の記録確認	B108	1	12	5	1	0	13	19	68%
32	職場ごとのチェックリストの内容確認	B109	0	11	1	0	0	11	12	92%
33	環境方針の公開	C101	0	1	0	0	0	1	1	100%
34	EMS進捗状況の公開	C102	0	1	0	0	0	1	1	100%
35	環境関連計画の公開	C103	0	1	0	0	0	1	1	100%
36	策定中の環境関連計画の経過公開	C104	0	1	0	0	0	1	1	100%
37	環境保全・改善事業の公開	C105	0	2	0	0	0	2	2	100%
38	環境負荷事業の公開	C106	0	2	0	0	0	2	2	100%
39	課として気をつけている点や工夫	B109	1	14	0	0	0	15	15	100%
40	一年間の対処・今後の環境政策	B104	0	1	0	0	0	1	1	100%
合計			8	314	15	8	13	322	345	

平成 21 年度 LAS-E 監査結果 個別所見

(1) 特に良かった点(◎)

対象 No.	対象名	設問 No.	所見
9	出納室	1	職員数減の時、照明を効率的に利用できるよう席の移動をしていました。
13	士幌高校	28	新規職員に対して独自に LAS-E の研修を行い、周知を行っていました。
20	北中音更小	20	校長室に基本方針が拡大して貼ってある。校長先生の答え方がスムーズであった。
24	こども課(認定子ども園)	11	使用済み封筒を裏返して封筒を作っていました。(封筒の再利用)
28	川西保育所	5	新しい施設でもあり、太陽光発電が利用されていました。
32	食品加工センター	39	会議を通じて生徒にも指導がされており、よかったと思います。(近くの高校生徒にも会議で指導)
34	国保病院	31	過去3年分のごみ等の排出記録がグラフになっており分かりやすくなっていた。
35	特養ホーム施設	39	「よしず」を使い、エアコン使用を控え、風を利用した、利用者の体にもやさしい対応をしていました。(電気代削減にもつながっていました)
36	士幌消防署	10	リサイクル、分別等も全て行われており、その整理が非常にきれいだった。

(2) 改善要望事項(△)

対象 No.	対象名	設問 No.	所見
8	保健福祉課(福祉C含む)	27	職員研修の記録が確認できなかった。(頭の中で整理はできていました。)
8	保健福祉課(福祉C含む)	32	職場のチェックリストはあるようだが、提出されなかった。
14	士幌町中央中	31	記録(所属別環境負荷実態調査)はしているが、記録は確認ができませんでした。(担当者不在のため)
15	士幌小	27	研修に行って、(職場研修の)記録の確認できなかった。教員打合せ等を行っているが…
17	上居辺小	24	実行・実践者であることは認識しているが、システム上の役割という意識ではないようであった
17	上居辺小	27	環境に関する話をする機会はあるが、(職場研修の)記録がなかった
19	佐倉小	31	記録(所属別環境負荷実態調査)を担当している教頭先生が不在のため確認ができないため△としました。
21	西上音更小	31	(所属別環境負荷実態調査)チェックあるようだが提出なし(士幌中央中学校と同じ状況)
22	新田小	9	便宜上、会議等でペットボトルを使用することがあるようです。個別のペットボトルではなく大きなペットボトルを利用する等工夫できると思います。
22	新田小	20	(基本方針の認識理解)次の予定があったため忙しく、手引きを確認しながら答えてもらうところまではしませんでした。ただ手引きはあり、確認すれば答えられたと思います。

22	新田小	31	担当者が不在だったため確認はできませんでした。周知が必要だと思います。[所属別環境負荷実態調査]
24	こども課	20	[基本方針の認識理解]瞬時に回答出来なかったが促したら答えられた。
31	ことばの教室	23	古い独自目標の回答でした。
33	給食センター	31	集計はあるが報告されていなかった。[所属別環境負荷実態調査]
36	土幌消防署	24	[環境マネジメントシステム上の役割と責任]瞬時に回答出来なかったが促したら答えられた。

(3) 勧告事項(×)

対象 No.	対象名	設問 No.	所見
17	上居辺小	20	資料の存在は知っていましたが、回答できませんでした。(基本方針)
17	上居辺小	22	資料の存在は知っていましたが、回答できませんでした。(環境影響)
17	上居辺小	23	資料の存在は知っていましたが、回答できませんでした。(独自目標)
17	上居辺小	31	教頭が担当しているが不在のため記録の確認ができませんでした。(校長、記録そのものを知らず)
18	下居辺小	8	使い捨て容器は分別して処理していたが、持ち帰りはしていませんでした。(休日出勤の場合)
18	下居辺小	22	健康被害があるとの回答であったが、手引きも手元になく、回答として不十分でした。(環境影響の認識理解)
21	西上音更小	27	H19 に事務局が学校で行った研修以降は行っておらず、職員が持っている手引きもその時のもので、最新版は配布されていませんでした。(周知、確認、注意事項は朝の打合せの時に口頭で)
28	川西保育所	12	エコマークは知っているが利用まではいかないそうです。利用できるものはエコマークの製品を使うといいと思います。

(4) 良かった点

対象 No.	対象名	所見
1	推進本部長	・推進本部会議で、マンネリ化せずに徹底を図るべく指示されていました。 ・また、単なる維持ではなく、取組そのものの評価・見直しも検討されていました。 ・環境宣言の PR や太陽光発電への町の独自補助など、住民向けの方策についても注力されています。 ・町民とともに環境政策を進めたいとの意欲が感じられ、学校教育での取組や町民が生活実感と環境問題を結びつける工夫などを話されました。
2	推進副本部長	推進副本部として LAS-E 運用の現状を総合的に把握しており、今後についても明確な考えを述べられました。
3	総務企画課	課の独自目標が大きく、町民からも見える場所に有り、アピールできている。
4	町民課	昨年特に指摘事項もなく、引き続き取り組まれているようでした。 お話をきくと「自宅では、あたり前のようにしていること(使わない部屋の電気を消すなど)が、職場でも自然にできるようになってきた」とのことで、意識の更なる高まりを感じました。

5	産業振興課(コミセン含む)	・補助事業に必要なことを出力すると大量な紙を使用することになりますが、できる限り裏面使用可能な紙を使っているということで努力されていました。 ・実行責任者・マネージャー・一般職員の方もよく理解されていて良かったと思います。
6	建設課	各自のノーマイカーデー記録、担当別のごみ記録などをPCで管理し、ペーパーレス化が進んでいました。
7	車両センター	くもりの日であっても電気をひとつも点灯しないくらいの節電の努力が見られました。
9	出納室	臨時職員の方(2名)にも、ノーマイカーを促し、記録もつけていました。
11	農業委員会事務局	課内全体が環境等のことについて良く理解されていると思います。
12	教育課(総合研修センター含む)	職員研修の資料を独自に作成し、実施しており、工夫されていました。
13	土幌高校	事務室内でも人のいないところの電気は消しており、努力が見られました。
14	土幌町中央中	封筒のエンドレス利用(宛先をたくさん書ける用紙を封筒にはり利用) 朝礼、職員会議でLAS-Eの今年度の取組を周知していました。
16	中土幌小	くもりの日で暗い状況であっても廊下を点灯しないくらいの節電の努力が見られました。
17	上居辺小	廃棄物の分別が正確にされているとともに、児童への指導も徹底されていました
19	佐倉小	紙の分類が整理整頓が行き届いていました。 色画用紙の切れ端なども子どもが使えるように整理されていました。 会議等で実行責任者(校長先生)のみの対応でしたが、全般的に的確にお答えがありました。 ごみ箱にも分別表などがついていて、誰が見てもわかるようになっていて良かったと思います。
21	西上音更小	暗いくらいの廊下も電気をつけない、寒いくらいでも暖房をつけないくらいの努力が見られました。 児童会のリサイクル活動として紙パック・新聞・紙資源をリサイクルセンターへ運んでいました。
22	新田小	給食、調理実習等で出た残飯をコンポストで処理していました。
24	こども課(認定子ども園)	会議の内容を整理して僻地へはFAXで送信していた
28	川西保育所	子ども達に対してごみ箱の色で分別を教えていました。 給湯は太陽光発電を利用していました。 弁当のふたを皿がわりにして、おかずを配るそうです。
31	ことばの教室(教育課)	封筒の両面利用後、メモ用紙として活用したり、コピー用紙を細かく分別していました。一般職員のみ部署ですが、努力されているように感じました。
32	食品加工センター	毎週金曜日に行っているフードシステム会議の中で生徒にもごみ分別等指導がされているそうです。 排オイルを機械室で再利用、豚バラ肉のハネを他の製品に利用しているそうです。
35	特養ホーム施設	よしのすだれを利用していました。(夏季) エネルギー量(電気量、水道下水道量、燃料等)を一覧にし、周知していました。

(5) 総合コメント・その他

対象 No.	対象名	所見
0	事務局	他の日常業務もあり、事務局体制としては厳しい状況にあります。 しかし、この取組の成果やごみ削減の結果等を広報や役場だよりで紹介することにより、住民のあいだでも話題に上っており、住民への広がり兆しは見られます。
2	推進副本部長	取組の拡大、レベルアップを焦らず着実に長く続けることを重視されていましたが、一方で職場・職員のマンネリ化からどう脱却するかという課題もあると思われます。 マンネリ化の打破についてもご検討下さい。
6	建設課	・実行責任者が不在のため、代理の方の対応でした。 ・紙のリサイクルボックスで、再利用封筒の箱も作ると便利だと思います。
7	車両センター	公用自転車の配備があれば利用したいとのことでした。
10	議会事務局	今回チェックした項目はすべて実施を確認しました。
11	農業委員会事務局	・設問 No.18(常在業者への要請)担当でないため「／(該当なし)」 ・ペレットストーブを導入しているが温度調節を細かくできないため使用が難しい面があるとのことでした。
12	教育課(総合研修センター含む)	・全体的に取り組みが浸透しており、努力されていると感じました。 ・施設を管理しているため、町民等の利用の頻度により廃棄物量や電気・水道等の使用量が大幅に変わることがあるので、数値で判断できない部分がありました。
13	土幌高校	生徒が使う場所を暗くする訳にはいかず、難しい部分があるようでした。
14	土幌町中央中	生徒に対しては授業を通して環境への配慮をよびかけていました。
15	土幌小	グリーン購入について理解しているが、予算の関係から購入ができていない。
16	中土幌小	防寒対策としてペアガラス、耐震対策として最新ボイラーを導入中であり、エネルギー消費の大幅な削減が見込まれます。
17	上居辺小	エコアクション部門の取組は優れていますが、エコマネジメント部門の取組が遅れているようですので、今後の取組の重点としてはほしいです。
18	下居辺小	記録は残されていたが、報告することを知らなかったようです。(以前から知らないようですので、申し送りが不十分だったと思います。)申し訳ありません。
20	北中音更小	環境問題に対し理解が深く、地域を巻き込んだ取組を推進している。
22	新田小	ノーマイカーデーは遠方から通っている人が多く、実施は難しいようです。
28	川西保育所	子どもたちの使う物は削減できないため難しい部分もあるようです。 環境マネージャー会議の資料を配布し、周知していました。
32	食品加工センター	ノーマイカーデーを実施できるのは職員の中で一人だけで、他の3人は市街地からの通勤のため難しいそうです。 生徒の技術向上がロスを減らし、結果環境への配慮につながるそうです。
33	給食センター(教育課)	グリーン購入について、給食センターは意識して購入している。少し高めだが。
35	特養ホーム施設	昨年に比べ、しっかりとLAS-Eの周知徹底が行われており、大きな努力がみられました。